

# 討論

本会議最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各会派の代表者などが賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。

## 市長提出議案

○『敬老祝金の支給に関する条例の一部改正』

**自民清風会** は、「敬老祝金の支給要件と額を見直すもので、高齢者福祉費用が増大し、毎日の生活を守る費用が優先されるが、財政回復の折には元に戻すことを望む」と意見を述べ、賛成した。

**ゆうあい21** は、「これまで支給された敬老祝金を一部見直すもので、高齢者にとって大切な市民サービスであり、他市の状況も勘案し検討されるよう要望する」と意見を述べ、賛成した。

**日本一愛知の会 岡崎** は、「現在の財政状況は、我慢しなくてはいけない時であり、見直しは必要と考えるが、金額にかかわらず敬老を祝う気持ちを充実して欲しい」と意見を述べ、賛成した。

**無所属・日本共産党** は、「平成22年の寿バス券等の廃止に続く高齢者の切り捨てであり、本多邸の復元や悠紀の里整備などは残しながら、高齢者の楽しみを奪うも

のである」とし、反対した。

○『平成23年度一般会計予算』

**自民清風会** は、「市税収入に若干の増収が見込まれるものの、22年度同様厳しい財政環境の中で、緊急性や必要性を十分精査した上で「誇りと安心をもてる住みよさを次の10年につないでいく予算」として編成し、市民福祉の維持と確保に努めている」と意見を述べ、賛成した。

**ゆうあい21** は、「市税収入の若干の増収は見込めるものの、依然として厳しい財政環境の中で、生活保護費や医療費等の大幅な増加に対し、今まで以上に事業の必要性や緊急性を精査した予算である。執行に当たっては、これまで以上の慎重な配慮を強く要望する」と意見を述べ、賛成した。

**日本一愛知の会 岡崎** は、「企業収益の回復に伴い、市税収入が15億円ほど増収とはなるものの、社会保障関係費はそれ以上の伸びが見込まれ、引き続き非常に厳しい経済状況の下で編成されている」と意見を述べ、賛成した。

**公明党** は、「義務的経費は、確実に予算付けを行う一方で、政策的な経費は、真に23年度に実施が必要な事業の予算付けとしていられると思われ、増大する市民ニーズに対し、より一層の市民福祉の向上に努力することを期待する」と意見を述べ、賛成した。

**無所属・日本共産党** は、「市

としても国の補正予算等の情報収集に努め、暮らし福祉一番の岡崎市となるよう予算編成を行うべき」とし、反対した。

○『平成23年度病院事業会計予算』

**自民清風会** は、「経費削減にも引き続きの努力がなされ、収益的収支は22年度当初予算と比較して7億5000万円の収益改善となり、1億6000万円の黒字予算となっており、評価できる」と意見を述べ、賛成した。

**ゆうあい21** は、「医師を始め病院関係者の努力により、23年度は当初予算から黒字が予想されている。今後も厳しい病院経営が予想されるが、更なる努力を要望する」と意見を述べ、賛成した。

**日本一愛知の会 岡崎** は、「市民病院の経営方針や経営状態は、良好な方向に向かっていくと理解するが、医療を取り巻く状況は一刻と変化しているため、いろいろな変化に注意深く対処されたい」と意見を述べ、賛成した。

**公明党** は、「新棟建設及び放射線治療機器の導入により、がん診療の最先端医療の充実が図られると考える。更に2次病院や各医療機関との病診連携をより充実させ、医療の安全と質的向上を期待する」と意見を述べ、賛成した。

**無所属・日本共産党** は、「23年度予算は、新棟建設などもある

が、愛知県西三河南部東医療圏が新たに分離されベッド数で684床増え、そのうち65床を市民病院で増やすとのことであり評価する」と意見を述べ、賛成した。

○『平成23年度水道事業会計予算』

**自民清風会** は、「経常利益は22年と同水準が見込まれ評価する。今後も、より一層経営の効率化を図り水道水の安定供給に努められたい」と意見を述べ、賛成した。

**ゆうあい21** は、「23年度も9億円の黒字予算となっている。男川浄水場の建設を控えており、更なる自助努力を要望する」と意見を述べ、賛成した。

**公明党** は、「市民病院等の重要施設への水道管路の耐震化や大西配水場2号配水池の耐震化工事の推進は評価する」と意見を述べ、賛成した。

**無所属・日本共産党** は、「水道事業は経費削減より安全が求められる。事業者選定や契約は安全面を重視し、公開を原則とされた」と意見を述べ、賛成した。



男川浄水場